** 2024 年 06 月　第 5 版
＊ 2023 年 05 月　第 4 版

認証番号：218AABZX00067000

歯科材料　０３　義歯床材料

管理医療機器　歯科レジン系補綴物表面滑沢硬化材（70826000）

ジーシー　ナノコートラボ

【禁忌・禁止】
本品又は、メタクリレート系ポリマー、メタクリレート系モノマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】
概要　：本品は、歯科用レジン系補綴物用の光重合型コーティング材料であり、歯冠修復物及び欠損補綴物等のレジン表面に被膜を形成する。
形状　：液状（ボトル入り）15 mL
主成分　：メチルメタクリレート、多官能アクリレート、シリカ微粉末、光重合触媒
原理
本品は、歯冠修復物及び欠損補綴物等のレジン表面に塗布し、光照射によりメタクリル酸エステルを重合・硬化させ、膜を形成させるものである。

【使用目的又は効果】
歯科用レジン系補綴物表面に塗布・硬化させることにより、滑沢性及び、耐摩耗性を向上させる。

［使用目的又は効果に関連する使用上の注意］
１）本品を直接咬合圧の加わる箇所に使用しないこと。［摩耗する可能性がある］

【使用方法等】
１）レジン表面の粗面化
レジン表面の形態修正後、ペーパーコーンや粗目のシリコーンポイント等で表面性状を整えます。
※ラボサイドでご使用の場合は、サンドブラスト処理（アルミナ 25～50 μm、圧力 0.2 MPa 以下）を行うとより効果的です。＊
２）洗浄
スチームクリーナー又は超音波洗浄器等で、レジン表面を洗浄し乾燥させます。（シリコーン等のオイル成分がレジン表面に付着している場合は、ベンジンやエタノール洗浄等を併用すると効果的です。但し、アクリルレジン等の洗浄にエタノールを使用すると、マイクロクラックの原因となることがありますのでご注意ください。）
３）コーティング
本品を採取皿等に適量滴下し、筆等を用いてレジン表面に薄く塗布します。歯科技工用重合装置等で指定時間光照射を行い、本品を硬化させます。＊
（重合面全体に光があたり難い症例では、所定の時間光照射した後、必ず重合面の向きを変えて再度光照射を行います。）

＜歯科重合用光照射器と光照射時間＞＊

歯科重合用光照射器	照射時間
ハロゲンランプ歯科重合用光照射器	20秒
ＬＥＤ歯科重合用光照射器（700 mW/cm²以上）※1	30秒
紫LEDを採用した歯科技工用重合装置※2	90秒

・ハロゲンランプ歯科重合用光照射器：有効波長域が 400～515 nm
・LED 歯科重合用光照射器：光源に紫色 LED 及び青色 LED を使用した歯科重合用光照射器

他社ＬＥＤ歯科重合用光照射器・歯科技工用重合装置については、有効波長400～450 nmをすべて含むものを使用してください。
青色ＬＥＤ（有効波長域450～480 nm）のみを光源とするものは使用できません。

※１：例えば
Ｇ－ライト　プリマⅡ　Plus　10モード×３回
スリムライト　Lowモード×３回
※２：例えば
ラボキュア HL、ラボライト DUO

［使用方法等に関連する使用上の注意］
１）表面硬化性は光照射器の照射能力に依存するので、ランプの劣化やホコリなどによる汚れ、寿命等に注意すること。
２）重合不足を防ぐため、重合面を必ず光が照射する方向に向けて光照射させること。また、重合面全体に光があたり難い症例では、所定の時間光照射した後、重合面の向きを変えて再度光照射させること。光照射の条件によって表面にベタつきが残る場合には、表面のベタつきがなくなるまで照射時間を延長すること。
３）本品の重合阻害を防ぐ為、コーティングを行うレジン表面の未重合層を除去してから本品を塗布･重合すること。
４）本品を塗布する面を粗面にしないと、本品とレジンとの結合が不充分となり、剥離の原因となるので必ずレジン表面をペーパーコーンや粗めのシリコーンポイント等で粗面化すること。
５）本品を塗布する面は、レジン切削粉やワックス成分などが付着していないかよく確認し、あらかじめ清掃しておくこと。
６）ユージノール系製剤は、本品の硬化性能を阻害する可能性があるため併用しないこと。
７）エアーシリンジ等を使用して塗布前の表面の乾燥等を行う場合には、事前にオイルミスト等の接着阻害物質が噴射されていないことを確認してから使用すること。
８）本品塗布後､光照射するまでにエアーブローを行わないこと。
９）本品は揮発成分を含むことから、塗布直前に採取皿等に採取すること。（通常の採取皿を使用する場合には、採取後１分以内に塗布すること。ジーシー　ディスポディッシュを使用する場合は、採取後２分以内に塗布すること。）
10）本品を塗布する際に用いる筆は、毛先が開いている筆や荒れた筆を用いると気泡混入の原因になるため、毛先の整った筆を用いること。
11）本品を塗布する際に使用する筆等は専用とし、他の用途の筆と共用しないこと。
12）本品の塗布に用いた筆は、エチルアルコール又はレジンのモノマー液、レジンブラシクリーナー等で洗浄すること。
13）本品を塗布・硬化させた面には、レジン等の追加築盛は行えないので、バー等で削除して作業すること。
14）歯科技工用重合装置を使用する場合は、必ず２ cm 以上の台に乗せてから光照射させること。上からみてアンダーカットになる部分は硬化し難いので、向きを変えて再度光照射すること。［本品の硬化性に悪影響を及ぼす可能性がある。］＊
15）光源が青色 LED のみの照射器は使用できません。

【使用上の注意】
１）使用注意（次の患者には慎重に適応すること）
①薬剤、食品、アクセサリー、化学物質等に過敏症の既往歴がある患者には、本品及び類似品に対して過敏症歴がなくても問診を行い、慎重に適用すること。

２）重要な基本的注意
①本品又は、メタクリレート系ポリマー、メタクリレート系モノマーに対して過敏症の既往歴のある患者には、本品を使用しないこと。
②本品の使用により、発疹などの過敏症状を起こしたときは使用を中止し、すぐに医師の診断を受けさせること。

20012492
170545AW

③本品に対して、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は、本品を使用しないこと。また、使用により過敏症状を起こしたときは、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。
④本品との接触による過敏症状の予防のため、使用に際しては、手袋の着用等の適切な防護処置を行うこと。特に、未硬化物との接触は避けること。
⑤本品が皮膚に付着したり、目に入らないように注意すること。皮膚に付着した場合には、アルコールを含んだガーゼ等で拭き取り、直ちに大量の水で洗浄すること。また、目に入った場合には直ちに大量の水で洗浄し、眼科医の診断を受けること。
⑥本品は揮発成分を含有するため、使用する際は適切な換気（1時間あたり数回の換気）がなされている場所で使用すること。
⑦本品の使用にあたり、患者の症例に適応するかどうかは、歯科医師が判断の上使用すること。
⑧光照射の際は保護眼鏡などを使用し、照射光を直視しないこと。
⑨表面滑沢性は永久的に持続するものではないため、暫間的な表面滑沢処理として使用すること。
⑩本品は揮発成分を含有していることから、使用後すぐに容器を密栓すること。
⑪ノズルに液が付着した場合、拭き取ってからキャップを装着すること。また、ノズルが破損する場合があるので、キャップ装着時はまっすぐに装着してから締めること。
⑫本品を火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。また高温となる場所、直射日光のあたる場所に置かないこと。
⑬他の製品と混用しないこと。
⑭本品が衣類に付着すると除去が困難なことから、エプロンなどを使用して付着を防止すること。
⑮光照射器および重合装置は、定期的に清掃及びランプの交換などのメンテナンスをすること。*
⑯本品は、【使用目的又は効果】の項に記載の用途以外には使用しないこと。
⑰本品は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
⑱本品については、試験によるMR安全性評価を実施していない。（自己認証による）**

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

・高温・直射日光を避け、冷暗所（４～25 ℃）で保管する。
・１つの保管庫に大量に保管しない。
・本品は可燃性のため、火気の近くでの使用、保管は避ける。
・使用及び保管場所には、消火装置を備える。
・本品は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理する。

[有効期限]

本品は、包装に記載の使用期限※までに使用する。
※（例 EXP.２０２８－０６　は
使用期限２０２８年　６月　を示す。）

[廃棄方法]

本品は引火性を有することから、使い切ってから廃棄する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元　：株式会社ジーシーデンタルプロダクツ
主たる設計元：株式会社ジーシー

発売元　　：株式会社ジーシー
住所　　：〒113－0033
東京都文京区本郷３丁目２番14号
電話番号　：（お客様窓口）0120-416480